

4次元で「関ヶ原合戦」を可視化

『不破ふわ塾』

キーワード

電子国土 Web、地理・歴史教育、情報の可視化、プロジェクションマッピング、防災

・『不破ふわ塾』は関ヶ原町歴史民俗学習館主催のイベントを企画・運営をするボランティア団体で、2021年9月から関ヶ原町歴史民俗学習館主催イベント「If 武将たちの関ヶ原」を基本月1回企画・開催をしている。

・主に関ヶ原合戦を題材にして、地形と時間及び兵数数を色々な手法で可視化して、イベントを開催。

イベントで利用する地図などは、地理院地図（電子国土 Web）、CS 立体図（岐阜県森林研究所作成：ぎふ森林情報ウェブマップ：1mDEM）、関ヶ原町所蔵の古絵図及び関ヶ原合戦地域のジオラマである。

・『不破ふわ塾』では関ヶ原合戦が行われた関ヶ原町を含む不破郡の「地域の歴史研究」を行い、研究成果の「情報の可視化」をイベント「If 武将たちの関ヶ原」で研究を行っている。この「情報の可視化」の研究成果は「日本情報考古学会」などの学会へ論文を発表している。

・CS 立体図の利用により、松尾山城の山城的な地形を探すツールとして利用、調査効率を上げた。

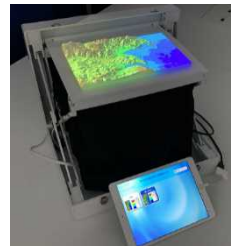
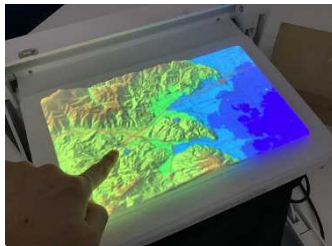
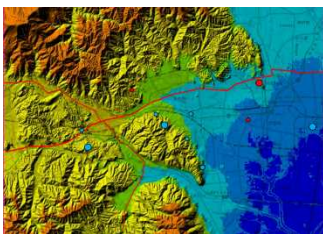
・最近では防災で開発された移動型プロジェクションマッピングの機材を、有限会社アシストコムとの協力で利用している。投影画像は「If 武将たちの関ヶ原」に合わせた内容で『不破ふわ塾』が作成した。



① 関ヶ原合戦図屏風をジオラマに立体化



② 多数枚の陰影図を利用し大判サイズを作成



透過型三次元地形モデルに画像を投影